

数値目標の達成状況（精神センター）

（１）医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

数値目標	単位	2024 実績	2025 目標	2025 実績見込	達成率	2026 目標	目標未達理由と今後の対策
訪問看護・ACT訪問件数 （うち ACT 訪問件数）	件	4,171 (1,678)	6,570 (3,160)	4,277 (1,777)	65.1% (56.2%)	6,570 (3,160)	<p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画した職員の増員ができなかったことにより、ACT の 24 時間 365 日体制が整わなかった。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各病棟看護師による退院後訪問看護を実施する。また、ACT については、従前対象としていなかった比較的軽度の患者にも対象範囲を広げるなど、新規患者の掘り起こしにも努める。
救急患者数	人	685	490	638	130.2%	495	<p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ベッドコントロール会議等により、各病棟の連携によるスムーズな保護室の運用を図り、精神科救急医療情報システム当番病院での対応の他、後方支援病院の優先病院や補完病院としての機能を積極的に発揮していく。
修正型電気けいれん療法の他院からの紹介患者件数	件	12	12	8	66.7%	12	<p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護室の利用率が高く、他院からの受け入れができない期間があった。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、他院へ当センターの先進的な医療を周知することにより、紹介患者を確保する。また、クロザピン等による病状改善を図るとともに、強度行動障害の患者を施設利用につなげることにより、他院からの紹介患者を受け入れる保護室を確保する。
クロザピン処方実人数	人	122	86	120	139.5%	93	<p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、クロザピン新規導入患者を西 2 病棟、西 3 病棟に計画的に配置するとともに、他院へ当センターの先進的な医療を周知することにより、紹介患者を確保する。
患者満足度(上段:外来、下段:入院)	%	81.9 55.0	76.5 56.0	79.7 67.5	104.2% 120.5%	77.0 56.5	<p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、接遇研修をはじめとした各種研修を実施するとともに、アンケート結果から満足度の低い項目の強化を図る。
逆紹介率	%	82.2	56.0	66.4	118.6%	58.0	<p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、クリニック等との連携を強化するとともに、診療情報提供書の作成を徹底しつつ、バランスの良い逆紹介率を目指す。

(2) 経営指標に係る数値目標

数値目標	単位	2024 実績	2025 目標	2025 実績見込	達成率	2026 目標	目標未達理由と今後の対策
修正医業収支比率	%	59.6	64.1	56.8	88.6%	64.1	<p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均在院日数が計画より短かったこと等により、入院収益が計画に満たなかったことや、給与改定により給与費が計画を上回ったことによる。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西4病棟を急性期病棟化したことによる効果を最大化するために、救急、急性期、慢性期の患者の適切な配置を進めて患者の確保を図るとともに、経費の削減対策を実施していく。
新入院患者数	人	1,056	842	1,053	125.1%	842	<p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> オープンホスピタルや、地域連携の実施、児童相談所との連携強化及び救急患者の受入れにより、新入院患者数を確保する。
病床利用率	%	67.2	76.9	69.7	90.6%	76.9	<p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均在院日数が計画より短かったことや、保護室の利用率が高く、他院からの受け入れができない期間があったこと等による。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期患者の増に対応するために西4病棟を急性期病棟化したことの効果を最大化するために、救急、急性期、慢性期の患者の適切な配置を進めて患者の確保を図る。
新外来患者数	人	928	900	991	110.1%	900	<p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携により紹介された入院に至らない患者も、引続き外来で受け入れていく。
1日当たり外来患者数	人	185	282	184.2	65.3%	282	<p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業所等の地域でのサービスが充実してきたことにより、デイケア患者が減少した。 地域移行を進めたことにより、再診患者が減少した。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 退院患者を症状が安定するまでの間、当センターの外来で診察する。 新患受け入れ枠を増やすことにより、外来患者を確保する。
平均在院日数	日	62.7	90.0	66.3	73.7%	90.0	<p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期入院患者の退院促進をしたことなどによる。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3か月以内の再入院がないような退院ができるように、治療評価会議等を通じて適切な在院日数を維持する。
院外処方率	%	62.0	47.0	99.6	211.9%	48.5	<p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、原則院外処方とするため、調剤薬局への情報提供等を行っていく。
職員充足率	%	97	100	96.6	96.6%	100	<p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若手医師の当センターへの勤務希望が少なかったため。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋大学だけでなく、他の大学への働きかけを実施するとともに、教育の充実により離職者を防ぐ。